

1月の「どんぐりsカフェ」から 高蔵寺の「宝」高森山再生へ熱い議論

1月18日の「どんぐりsカフェ」は、「春日井東部丘陵地域の歴史をたずね 高森山公園の未来を描く」と題し、自然保護協会自然観察指導員の太田省三さん、魅力ある高森山公園をつくる会会長の堀内泰さん、リスの会会員の采女秀世さんのお話をお聞きした。「高蔵寺まちづくり会社」の後援もあり、41人が参加、「高蔵寺ニュータウンの宝」と言われた高森山をいかに再生するか、熱心な議論が行われた＝写真。

太田さんは、春日井市と岐阜県多治見市を分ける東部丘陵地域の100年間の変遷をプロジェクターの写真を交えて解説。明治初期は、瀬戸地域の陶磁器産業の燃料として樹木が伐採されほとんどはげ山となっていた。当時の政府が木



曾三川や庄内川などの治水工事のためにヨーロッパから著名なヨハネス・デレーケら土木技師を招いたが、その一環の水源対策として大規模な植樹、治山工事が行われた。明治末期には森林が復活したものの昭和の戦中・戦後期にまた乱伐が行われ見る影もなく荒廃。戦後に植林事業が実施され再び緑が戻った。高森山は数度の山火事などではげ山になったが、小学生らも参加した「どんぐり作戦」で緑を取り戻した。東部丘陵地域は春日井の「最後の緑の砦」。その飛び地である高森山は、植物や昆虫、動物の宝庫となっている。基礎データを収集し、自然保全とバランスのある整備を進め、子供らの自然探検や野外学習の場に活用したい、と強調した。

堀内さんは、2年前に発足した「魅力ある高森山公園をつくる会」の活動を紹介。月に一度会員が集まり、山道を整備したり、ヤブ状態になった山林の雑木を伐採したりしている。将来は、行政と協力して周辺グラウンドの整備、バーベキュー場、管理棟や展望台などを設け、自然を残しつつ住民の交流と憩いの場、健康づくりの拠点としたいと夢を語った。采女さんは、高森山のリスの給餌場に設置した固定カメラでとらえたリスの生態を紹介。器用にクルミの実を運び土に埋める様子がかわいらしい。采女さんは「リスは高森山に自生する貴重なニホンリス。リスの数が年々減ってきている。高森山を整備することは必要だが、リスとの共生も考えてほしい」と訴えた。
(明賀 雄二)

役員会から(1月18日)

●今期は、どんぐりsカフェ、役員会、ふれあいだよりの発行を隔月に行うなど、活動量を減らす一方、「魅力ある高森山公園をつくる会」(以下、「つくる会」)の活動の進展や、生活支援の一環としての開催した「ハート・ほっと・ルーム」の定着など新しい動きがあった。そうした中、1月の役員会では、来期に向けての組織体制について検討を行った。●「どんぐりs」の現在の活動は高齢役員によってかろうじて支えられており、限界を迎えている。来期の代表者の人選も困難を極めている。今期限りでの“店じまい”もやむを得ないとの考えがある一方、「つくる会」は行政との協力関係も強まっており、信用力のあるNPO法人の存在は必要との意見も無視できない。それ故、「つくる会」はどんぐりsと提携していくことで更なる発展が期待される事情もある。●さまざまな意見交換があったが、「つくる会」が「どんぐりs」との関係はどう考えるか、その判断を踏まえて改めて「どんぐりs」の来期の組織体制を検討することになった。(理事長 藤城 栄一)

環境省主催の企画コンテスト ハナモモの会が入賞 3月の育樹祭に花添える

環境省では、良好なかおり環境を創出しようとする地域の取り組みを支援することを目的に企画コンテストを毎年実施している。今回第14回のコンテストに「高蔵寺ニュータウン・ハナモモ桃源郷の会」（ハナモモの会）の応募案が、環境大臣賞に次ぐ「日本アロマ環境協会賞」を受賞した。このコンテストは実際に植栽されることが条件になっている。会がこのコンテスト

私の朝・昼・晩

人間とAI（人工知能）

〈初釜やいまぞ生きよと富士の土〉1月4日の天声人語（朝日新聞コラム）に紹介された、俳句を詠む人工知能「AI-茶くん」の作品である。何十万もの古今の名句を覚えこませた結果、3カ月で味わい深い句を詠むようになったという。1時間に14万もの句を作り出すが、玉石混交らしい。今回の新年詠は3758作品のうち的一句とのこと。

最近のAIの進化には驚くべきものがある。私は有用な面が多いことは十分承知しているつもりだが、何か漠とした不安も覚える。現存するAIは「特化型」と呼ばれ、用途が限定的だ。幅広い分野で自律的に課題を発見、解決できる「汎用型」AIは、まだ実現の見通しが立っていないようだ。しかしやがてAIが人間を凌駕する時代が来ると断言する人もいる。一方東大合格をめざすAI開発で知られる数学者の新井紀子氏（国立情報学研究所）は、現状の技術の延長線上では、AIが東大に合格する日は永遠に来ないという。

AIの可能性と限界をきちんと見極め対策を取ろうではないか。AIには弱点があり、それは彼らが「まるで意味がわかっていない」ということだ。逆に言えば意味を理解しなくてもできる仕事は遠からずAIに奪われる。だから特に若い人には意味を理解できる人になってほしいと締めくくる。門外漢の私はこの説を知っていくらかほっとした。（山上 薫）

を知ったのは昨年のお盆過ぎ。締め切りの9月中旬までの約1月間、何回ものすり合わせを重ね締め切りギリギリに提出した。

ハナモモの弱点は開花時期の20日間以外はいわば闇の時間帯。この空白の時間帯を生かすために、香りのある樹木や草木をハナモモの周りに植えこむことによって、年中ハナモモ周辺の散歩道が楽しめるというアイデアが骨子となった。

表彰式は、東京・霞が関の環境省合同庁舎で2月21日に行われる。この受賞は3月14日（土）に予定されている「第4回ハナモモ育樹祭」に大きな弾みとなることが予想される。

（寺島 靖夫）



紅葉（瀬戸・浄源寺）

森 健

高齢者・すまい無料相談

- 電話または直接面接会場にお越しください
☎080-4540-3553（どんぐりS事務局）
面接相談会日時；2月9日（日）、3月8日（日）
（ともに13：30～16：00）
会 場；東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）

ハート・ほっと・ルーム

- 日 時；2月23日（日）、3月22日（日）
（ともに13：30～15：30）
会 場；東部ほっとステーション
（サンマルシェ南館1階）
参加費；200円 当日受付
連絡先；☎090-6330-4393（浪川）